

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

18

国立公文書館		
分類	返	赤
	3 A	
排架番号	14	
	16-9	

赤 16~9

File of miscellaneous documents I v.

No. 29

産業課
雑綴
(出)

国立公文書館	
分類	
	設 赤
	3 A
	14
配架番号	16-9

めくれず

経第

號

收受昭和20年12月21日

決裁昭和

年

月

日

書

合校

土月三三教信依託(大)

支廳長

長官

経情部長

主課長

総務課長

集団移住ニ関スル件

電報

長官

東京出張部長宛

群島在住

常駐東京中三、建設省、帰還

先ナギモノ少カ

南洋廳

南洋廳

ラズ
ミ筆^ハ
^カはふろ
る、綴主のバ
ハもたれ者か

後集國移住ニ新ニ村落ヲ建設セント

(ハ^ロオ^エ在^リテハ約^三カ^〇戸^一ハ^〇〇^〇名)

鉄
望
之
居
り
南
洋
廳
ト
シ
テ
モ
出
来
得
ん
限
り

其實踐上援助スル方針ニテ申取進優ニ依

ハコオウリ

代奉者五名 潤保職 員三名 先發也云

此予定一付在弘甲塲了知ノ上候補地此漢定

等準備上作取計相成衣衣衣衣衣

B5(両面用紙)

南洋廳

一、長期熱帶生活者多可適應之入植地人尤

四等温暖土地 7.21

二、入植地ハ（園地）ヲ希望スルモ止ムヲ得ザレバ二、三

ケサニ分散スル毛髮支ナレ

三、財政的援助ハ、吾輩ニ依ル、外共助ヲ我々會ニ依

頼
不
事
筆
ノ
コ
ト
ニ
而
計
ヒ
ア
レ

西
第

一
號

收受昭和
立案昭和
10年11月21日
決裁昭和
10年11月25日
施行昭和
10年11月25日
書

合 校

長官

五

經濟部長

山本 一

支廳長

在 記 名 宛

官民、現地自治体勢力整備ニ関スル件依頼

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通致職員ヲ配置スルコト

南 洋 廳

相成りタルニ付テハ特別ノ指導力ヲ協カシ得ル此

段ヨリ依頼ス

送 付 先

長谷川、河見、山口、山本、江口、大里、土原、福井、各部隊長

農産部隊長、農産部四(豊平)部次(瑞穂)部七(アイミリー

キ)部八(カスパン)部九(大和)部十(朝日)各大隊隊長

オヤワ、南織、植産各農場長

瑞穂、アイミリー、カスパン、植産、大和、朝日各地区統制長

山本一

支廳長

田村、村上、和能、板倉、坂田、各教師
姫野、藤、高木、中野、佐々木、植、各

友民ノ現地自治化、能力整備ニ関スル件、前記

今般別紙ノ通、役職員ヲ配置シ及民ノ現地自治化、能力

ヲ整備スルコト、為リ貴方ヲ 出張部長ニ任命

せん、付テハ此ヲ現了知ノ上、友民現地自治ノ安定ニ尽

力相成

記

一、業務ノ遂リニ當リテハ軍トノ連絡ヲ密ニシ、庶多様ヲ生
ズルガ如キコトヲ千様留意ノコト
二、部落總代ハ部落民ノ代表者トシテ其ノ意思ヲ上通シ
同ト共ニ歩張リ長ノ相談役ト爲リ之ヲ輔佐スルモノス
三、警察官及ハ助長ガ政ヲ執ルニ関シテハ歩張リ長ノ指揮
係スルモノトシテ警察官及ハ助長ガ政ヲ執ルニ関シテハ直接警察課長ノ

南洋風

指揮ヲ受クルモノトス

案ノ三

又廳長

大場、渡辺、二階堂、志多、
小山、堀江、河川、伊藤、
河合、五條、古賀、佐田、
小林、茅原、倉川、山崎、
和久、小橋、高橋、石山、
佐野、佐崎、大田、大田、出石、

(部落總代)

17

官民ノ現地自治体協力關係ニ関スル件依頼

料あり、多量之既費也

陳者、年報別紙ノ通、役職員ノ配置ニ、地方ノ状況

自治体、地方ノ整備スルニ、より、貴人下ニ
出張部長
部長総代

ヲ委嘱致し、休テハ、迅速感ノコト、ハ、取スルモ、ハラフ

ニ、於ケル、現況ニ鑑ミ、地方、防衛ノ上、及、民ノ生活、安寧ノ

為、即、尽力、相得、交、此、致、シ、仰、依頼、也

追、而、在、此、甲、頃、仰、旨、置、相、成、申、候、也

南洋廳

死

一、業務、力、遂、行、ニ、向、テ、ハ、筆、ト、連、絡、シ、密、ニ、庶、務、操、ヲ、生

スル、が、如、キ、コト、ナ、キ、様、留、意、ノ、コト

二、部長、総、代、ハ、部、務、民、ノ、代、表、者、ト、シ、テ、其、ノ、意、思、ノ、上、通、シ

同、ル、ト、共、ニ、出、張、部、長、ノ、相、談、役、ト、為、リ、之、ヲ、輔、佐、ス、ル、モ、ト、ス

三、部、務、室、長、ハ、助、長、ノ、政、ヲ、務、力、ニ、同、シ、テ、ハ、出、張、部、長、ノ、指、揮

ニ、應、ス、ル、モ、部、務、室、長、ハ、部、務、力、ニ、同、シ、テ、ハ、直、接、部、務、課

光ノ指揮ヲ受クルモノトス

現地自造配買表 二〇二、一〇

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

2354
 80

現地自

500	1500	1810 4485	213	340	364	185	86	106 30	340	186	884	440	1300	130	100	742	地名出張所
朝	朝	大	熟	カスパン	アイリキス	アイリキス	南	瑞	アイライ	アイライ	豊	南	清	マルキヨク	六ギソル	カラスマ	地
2日	1日	和	産	伊藤	技師	姫野	糧	瑞	アイライ	村	南	織	水	マルキヨク	六ギソル	カラスマ	名
植	坂	板倉	勇木	伊藤	技師	姫野	江川	瑞	アイライ	村	南	織	水	マルキヨク	六ギソル	カラスマ	出張所
植	坂	板倉	勇木	伊藤	技師	姫野	江川	瑞	アイライ	村	南	織	水	マルキヨク	六ギソル	カラスマ	出張所

出口彌一郎	太田忠義	太田好似	佐崎忠作	石山作太郎	高橋幸夫	兼伊藤進	小橋定雄	和氣一雄	兼江川隆俊	兼小山寿夫	兼路原竹三郎	谷川春十代	兼志水守道	茅原演	小林覽一	渡辺房吉	古賀一郎	三藤利治	河合八郎	兼大場兼武	部落總代
-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-----	------	------	------	------	------	-------	------

上茂久吉	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中
上茂久吉	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中
上茂久吉	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中
上茂久吉	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中	村中

支廳第二號

收受昭和
立案昭和

20年11月30日

決裁昭和
施行昭和

20年11月20日

書

校

インキ止同様用紙14枚

支廳長

産業課長
事務課長

課員

第一

支廳長

南日第
提議部長

職員配置
通達
閣下
件通達

都令：依り在記ノ通職員配置替セルニ付了
知相成迄ヲ在記産大陽平へ連絡相成交
記

職氏名
現任地
新任地

技手
上垣逸夫
南日第一
朝日第一

技手
藤井重雄
朝日第一
南日第一

藥ノ二

農産部十大弱長記

支那

十月三十日附ノ出見、輸村、新、南、糧、配、置、督、上、塩、投

12,6,5 (5,000)

正卷第

三

號

收受昭和	20年	12月	7日	決裁昭和	20年	12月	8日
立案昭和				施行昭和			

合校

主任

係
員

葉一

支廳長

灰泥名記

友民自治，勢力整肅。

十二月八日附在記／通 費令也／三 付了了 知相我

南洋廳

記

アイライ第ニ出張の命ス

アイライ出張の命ス

井上作

アイライ 第一 出^張 少長 才要 帰入 (新装 総代 如故)

かゝハニ張シキ兼テ其後代何れナリ

からハン部女候總代ツ妻歸入

集勢分解

曲豆部 陸終代ノ事ヲ略ス

大和乃二部後德氏佐男健十郎

夜也

B5(南國四紙用紙)

葉一二

文廟堂

後記

哲民一現地自治協力整備工圖又此件

十二月 日 附 子 以 子 在 不 已 一 通 菱 令 元 之 付 印 了

知相成

言已

アイライ第(半張)良ヲ要喉ス(部廿四總代如故)

有羊

アイライ 第二出張部長シ命ス

加スハニ部族總代ヲ解ク

カスハノ部族總代ヲ妻居ス

南
海
廟
林
上
保

伊
蘇
淮

加 藥 秀 五
に

西
第

14
號

收受昭和
立案昭和
20年
12月
16日

決裁昭和	施行昭和
年	年
月	月
日	日
淨書	書

合校

長官

支上廳長

閨傳長

係
員

経情部長 宛

主 任

藥

香出張郎良宛

支
廉
良

集
國
ヨリ

保馬盡支即苦力取撥二箇月以件

現地自治用トシテ係馬ノ南坪廐ニ移居シタリノ

又馬取扱者、又ハ支那苦力ハ米側ニ於テ近シ。

支那の土ニ云
四ノ一セうに、此のナル元長あり、民トシ
馬ト共ニ水動セシメ、自眼
合アリタルニ付、一
師取計相和な

進而支即苦力ノ擧リ糧秣トシテ十日分ヲ支付
スル趣ニ付爲合

二 趣 二 付 治 念

關係

照冬後第一口九號

昭和二十一年十二月十一日
ハラオ地区集團司令

昭和二十一年十一月十一日

ハヤシ地区集團司令官

南洋厅长官殿

陸軍部隊歸還ニ伴ヒ現地自活用トシテ

保管馬一應貴廳二移管政度

馬取板着タル支那苦力ハ米側ニヨリ近ク

酒本天那本五三送還セリハ、笑ニシテ其レ

ル、ヤニ聞知シアル各部隊歸還ニ伴ヒ解

傳セラルタル之等人員ハ官民トシテ一應馬下

動セシメ度ニ付貴、鑛各出張所ニ於テ

宿營給養等ニ關シ配慮セラレ度
照會ス

追而本件ニ關シテハ米側ニ於テモ了承
濟ミナルニ付為念

配布區分 南洋方

國語官

照參後第百八號
保管馬移管並支那苦力取扱ニ關スル件通牒
十年十二月十二日
今才地區集團參謀長

各部隊保管馬ハ現地自活用トシテ一應南洋
總長官ニ移管スル事ニ定メラレタルニ付保管
馬ヲ有スル各部隊ハ別紙ニ據リ夫々移管
ヲ實施サレ度
尚各部隊ニテ雇傭シアル支那苦力ハ近キ將
來ニ於テ直接支那本土ニ送還スヘク米側
長官ニテ計畫中ナルモ各部隊歸還輸送決定
ニ伴ヒ解僱ノ上(馬ト共ニ)一應最寄南洋廳
出張所ニ宿營給養等配慮方依頼相成度
追而支那苦力ノ携行糧秣トシテ十日分ヲ支
付セラレ度

配布区分

15i
 59i
 53B_s
 零部
 348is
 349is
 350is
 351is
 P/53B_s
 A/53B_s
 330is

軍管 南洋庁 各部

照參後第百八號別紙

保管馬移管区分表

保管部	隊	頭数	移管地
管	理部	四	朝鵑部山
步兵第十五	聯隊	一	朝鵑部山

照參後第百八號別紙

保管馬移管區分表

保管部	頭数	移管地
管理部	四	瑪希山
步兵第十五聯隊	一	朝月
步兵第五十九聯隊	二	愛來
獨逸混成隊第三旅團司令部	一六	清水
獨逸步兵第三四八大隊	一	カスパン
第三四九大隊	八	カラスマオ
第三五〇大隊	一〇	マルキヨク
第三五一大隊	六	愛來
獨逸混成隊第三旅團砲兵隊	一四	清水
工兵隊	一	清水
獨逸步兵第三三〇大隊	五	瑞穂
軍馬管理隊	七	瑞穂
計	一〇四	總

備考

一、馬移管ニ當リテハ所要ノ馬糧馬具一
 用具獸醫材料ヲ附スルモトス
 二、移管地ハ一應本表ノ如ク定ムルハ部隊
 分駐等ノ爲メ分散シアリルモノハ相互協定
 ノ上變更スル事ヲ得

西
第 五 號

收受昭和 70 年 12 月 18 日
立案昭和 70 年 12 月 18 日
決裁昭和 70 年 12 月 18 日
施行昭和 70 年 12 月 18 日
書 淨

合 校

支 廳 長

産業課長
総務課長
経済課長

主 任
係 員

案

かろろ方出張部長宛

支 廳 長

製油部引継之関与件

日誌 昭和 70 年 12 月 18 日 部隊より引継之受入アルアコ

旨 旨

() 昭和 年 月 日

昭和三十年十一月二十三日
 ガラス工出張所長
 西部支社長殿
 製油所引継二南三件
 十二月十八日附西屋第五部四時迄依ルアコルシ在製
 油所引継一件十二月五日カント村長ニ引継了了
 係向照不七八部隊引継書及対島民引継書別冊
 或部向送付申上候ニ付申査収お込候
 追不引継物係中精半一冊ニ係査監視員居様ニ之為
 係査引継書申上候お込申候也

南洋アルミニウム鑛業株式會社

此部在製油所ハ部令ニ依リ之ヲ島民ニ引継グ
 二トハ居リタルニ付別紙引継書ニ其モキカウリヨ村長
 ニ引継ギ相成候
 追而別紙ハ対島民ノ引継書ト共ニ返送相
 成交

B5(南西同紙用紙)

不
下
山

建築物 (橋)	橋	一	エルゲル	
" (倉庫)	"	一	エラソイ	
" (工場)	"	一	マワイ	
" (倉庫)	"	一	經理勤務部	
乾パン	乾	五		
収帳 (四人用)	張	二		
「かおくだ」製油所				
品目	数量	所有	摘要	
発動機 (重油)	台	一	經理勤務部	故障
" (重油)	"	一	ソラン	
「ヨコ」制機	組	二	經理勤務部	一組二箇トス
水洗機	箇	二	生産部	

軍

深	釜	箇	一	生産組長	
平	釜	一	三	經理勤務部	内各個要修理
空トム釜 (二〇五)	本	一〇			
" (五五)	"	二			
搬水缶 (二〇五)	箇	二			
建築物 (兵舎)	棟	二			
" (倉庫)	"	一	西部支店		
" (倉庫)	"	一	經理勤務部	(工場)	
才	箇	五			

軍

右品目ノ引継ヲ了ス
昭和二十年十二月三十一日
引継者 南洋駐西部支店産業課

技手 藤井 薫
加代理 谷山 俊

(印)

引継受者　がエルド村長　エルド村長

酸

軍

第十四師團經理勤務部第一區製油隊

引 継 書

依 因

支 廳 長

産業部長
経済部長
経 理 課 長

めくれず

第一区製油隊引継書

アコイル製油所		品名	単位	数量	所有者	摘要
深	金	深金	箇	三	江見部隊	一組二箇ト人
平	金	平金	箇	一	リガン	
テ	イ	テイ	一	一	エラソイ	
水	正	水正	四	一	エラソイ	
空	正	空正	一	一	マウイ	
建	物	建物	一	一	アツシ	
宿	舎	宿舎	一	一		

陸軍



右品目、引継了入

昭和二十年十二月十一日

引繼者

第十四師團經理勤務部第一製油隊長

陸軍主計大尉

樺澤重夫

引継受者 南洋廳 正訂文 廳産業課

救手

藤井

善

水洗タンクニ投入

二 生 產 部

東京小澤

陸軍

西産第六張

昭和二十一年十二月十八日

西郷支廳長

各支店印長

新聞費外印

水産試験場

係長

長官

文書送達係

首題ノ件別紙一通定メタルニ付文書送達係ニ

遺憾ナキ様配意相成方

南洋廳

めくれず

摘要

- 一、↑ハ通事ノ文書ハ新聞ノ送達要員ノ差立
系統ヲ示ス
- 二、↑ハ在支廳ヲ出先ニ對シ緊急送達ヲ初メ
スル場合ニ於テハ特使ノ差立系統ヲ示ス
- 三、各區署ニ於テハ連絡ノ回数、時刻等細部ニ關シテ
ハ相互協定スルコト
- 四、出先ヨリ在支廳ニ連絡ニ来リタル者ハ必ず確
認力課ニ出頭シ受領文書ノ有無ヲ確ルコト

西
第 七

號

收受昭和 20 年 12 月 20 日
立案昭和 20 年 12 月 20 日
施行昭和 20 年 12 月 21 日
決裁昭和 20 年 12 月 21 日
日 日 日 日
書 書 書 書

合 校

長官
支廳長

情報部長

關係課長
主任

總務課長

第一

後記

支廳長

郵政總局
職員
西道ニ關スル件

通達人會
ヨリ要領ノ次
ヲモリ現況ニ即應

スル為別紙一通部務總代並職員シ配置せん
ニ付知相成る

送付

オヤワル、アイライ第一、アイライ第二、瑞穂、アイミリー
キヤ一、アイミリーキヤ二、カスパン、紐、大和、カスマカ

東ノ二

支廳長

沖繩人會會長宛

部務總代並職員配置ニ関スル件

首題一件中出依り別紙一通配置せんニ付
知相成る

東ノ三

支廳長

後記

南洋廳

B5(南面同横用紙)

出張所	地域	新設總代	職
オヤワル		山川宗行	官城康元、保久林達雄
アイライカ一			山本金次郎、伴宗根、勲
アイライカ二			照屋林茂、柴引清行
瑞穂カ一		直玉橋景洋	豊里友永、富山清徳
アイミカ一		新垣金次郎	金城英之、喜納兼信
アイミカ二	西地、区	山城保次郎	田中太志、大城貞賢
カスハシ	沿市、一居	前田幸太郎	伴村源智之助、末若康祐
熱産		佐久川紀重	宇良栄太郎、満寛武忠
大和	第一区		番天官太郎、宮里盛順
	第二区	志伊良正源	比嘉知信
	第三区	崎原永保	上田昌成、高田達太郎
カラスマカ			西平宗模

南洋廳

めくれず

昭和二十年十月二十日

南洋群島パラオ島沖繩人會

會長 山江城松三

西部支廳長竹岡健治殿

各地區部落總代及出張所職員人選ニ關スル件
首題ニ件ニ關シ別紙ノ通リ人選致候条即決以テ
任命方發令相成度

1 1 4 2 3 5 6					
別紙					
地	区	名	總	代	職
アイミリ	地	西	山城次郎	田本太志	大城貞賢
アイミリ	地	市	金城保次郎	金城英六	喜納兼信
アイミリ	地	最上	新垣盛芳	照屋林蒼	柴引清行
アイミリ	地	アイミライ	嶺井勝武	岸本兼郎	仲宗根勉
アイミリ	地	瑞穂	真玉橋景洋	豊里友永	當山清徳
アイミリ	地	カスパン	前田幸太郎	仲村源智助	末吉康祐
アイミリ	地	オギワル	山川宗行	宮城兼元	保久村達雄
アイミリ	地	マルキヨク			
アイミリ	地	カラスマオ			
アイミリ	地	朝日			
アイミリ	地	清水			

(日本ノ一ト納)

大和村第一部落 佐久介紀重 普天間太郎 宮里盛順
 第二部落 比嘉知信
 第三部落 上間昌成 當間龜太郎
 熱産地區 宇良榮太郎 満重武尚
 大和地區 西平宇模

大和村第一部落
 第二部落
 第三部落
 熱産地區
 大和地區

拝念 今般貴下ニ

部族総代ヲ委嘱

致ルニ付テハ時局ニ鑑ミ住民ノ生活安定ノ為
模範ノ節力相煩ミ以テ得共其意ニ也

宛 知

(カラスマカ)

崎原永保

(カキワレ)

山川宗一

(瑞穂南部)

眞玉橋日東洋

(アイミリーキ第一最上地区)

新垣益世方

南洋廳

(アイミリーギ第二西地区) 山城次郎

(アイミリーギ第二南地区) 金城次郎

(カスパン) 前田幸太郎

第 八 號

號

收受昭和
立案昭和

20 年

12 月

21 日

決裁昭和
施行昭和

20 年

12 月

21 日

書

合 校

長官

支廳長

44

經濟部長

主任
關係部長

總務課長

44

第 一

支廳長

朝日大和
佐々木

集團移住準備員先發二回入件

集團移住準備員トシテ

南洋廳

四選選ノ方一次便ニテ先考セラルコトニ決定セルニ付
 テハ通報アリ次ノ何時ニテモ出考シ得ル様準
 備（可務力引継ヲ含ム）ヲ完了セラルト其ニ後
 仕考ノ要囑ヲ致スルモノハ其ノ氏名即報ア
 リ
 （朝日大由係似 大和 船山能太郎）
 長多 松尾右助次 才知ル 河合人等

葉ノ二

支那 戸長

瑞穂 戸長 山崎

B(南洋廳蔵用紙)

集開移任準備員先考ニ関スル件

集開移任進十備員トシテ瑞穂戸長ニ出張戸長
 ヲ先考セラルコトニ決定セルニ付先考後ハ方一ノ方ニ
 シ合併シ方（出張戸長ニ瑞穂出張戸長ヲ委
 嘱スル予定ニ付後日混乱ヲ来サハル様予メ
 先方ノ措置ヲ請フ置カレヌ

第 九 號

收受昭和 20 年 12 月 23 日 決定昭和 20 年 12 月 24 日 施行昭和 20 年 12 月 24 日 書 合 校

支廳長

長官

經濟部長

關係部長

總務部長

あま

支廳長

アイライ 瑞穂 第一 瑞穂 第二
アイミキ 第一 瑞穂 第一
朝日 第一 瑞穂 第一

出法 第一 分台 整正 備二 周スル 件

南洋廳

南洋廳

軍ノ撤收ニ伴フ状況ニ應ジ現地自治並内地帰還ノ
 能ハルヲ救フル為別紙一通出張シテ分令合シ即長
 ノ要動ヲカフコトナリ又ルニ能クハ即力引継其ノ
 他ニ慎重シ期レ混乱ヲ来スガ如キコト無キ様留意
 相成ス

分送 先
 少イミリーキヤ一、カスハン、然、大、新、
 各出張シ長

(南洋廳用紙)

現		改	
出張	長	出張	長
アイライ	技師村上 保	アイライ第一	瑞穂 第一
瑞穂 第一	瑞穂 第一	アイミリーキヤ二	瑞穂 第一
アイミリーキヤ二	技師 植竹 要子 雄	朝 日 一	技師 坂田 登
朝 日 一	技師 坂田 登	朝 日 二	技師 坂田 登
朝 日 二	技師 坂田 登		

表第一

一〇

號

收受昭和
立案昭和

20年

12月

25日

決裁昭和

施行昭和

年月

月

日

書

合

校

長官

内務部長

支那局長

経済局長

東洋局長

支那局長

大場兼武

宛

伊藤進

郭蔭遠氏解囑

月日世陸多端ノ折柄ノ教示ルヲ推察申

南洋廳

南洋廳

上ノルト其ニ内層力ニ對シ探基ナル謝意ヲ表シ
 今般部令ニ依リ貴下ヲ委任步張リハ長ト
 此部族總代ノ職責ハ之ヲ解囑スルコトニ為リタル
 ニ依リ許承相成交此般得貴方意思ト也

葉ノ二

支廳長

阿合ハ部、蛇梁等部
 和氣一雄、小橋定雄
 宛
 (オキワル瑞穂、アイミキキ工)
 (アイミキキ工瑞穂、アイミキキ工)

（南面同議用紙）

南洋廳

部族總代解囑ニ關スル件

并成、部族總代ニ依リ委任以來總大ナル内層力ヲ賜リ
 蒙ク中記ヤリ

陳若貴地ニ於ケル部族總代ハ沖繩人會推薦ノ
 者ヲ以テ之ニ當ツルコトニ為リタルニ依リハ貴下ニ對
 スル部族總代ヲ解囑スル事内許承相成交ノ礼
 此般得貴方意思ト也

支分長

西部支廳長竹園健治殿

昭和二十一年一月十日

解囑願ノ件

時下多端ナル折小職がラスマオ出張所長ヲ依囑サレ
今日に至リ何等期待ニ沿フベキ仕事ニ成シ得ズ
汗顔ニ至リ存シ候今般在島邦人ノ全般の内地
帰還ニ際シ小職ニ當地ニ於テ南洋アル社會社整
理定アリ期トレ内地ニ帰還弊社全般の整理ノ
業務ニ服シ度ノ事狀御了承上小職がラスマオ
出張所長解囑内地帰還議却許可被下度
此段御願申上候也

追伸、

小職内地帰還ハガラスマオ在島内地人ト共ニ
致ス可、此、照申添候

規格B4 12行

ナニナニ

西部支廳長竹岡健治殿

ガラスマオ出張所長 大場兼次

昭和二十一年一月十日

出張所職員内地帰還ニ伴フ

部落機構ニ関スル件

在島内地人帰還ニ伴フ今後、西部部落機構ヲ左記ノ
如ノ改組仕候付、却テ承賜リ度、貴意得申
候也

西部部落機構存続若者、沖繩人トナリ従来、動向
ヨリ觀察シテ、實質上部落機構ハ沖繩人會ニ
依リ處理サル、事トナル、依テ従来、部落機構ヲ
全面的ニ西部部落沖繩人會支部ニ引継シ定メテ

沖繩人會支部於同會支部長及部務總代
 中心として部務機構、改組を完了す
 青部務、如く確固たる沖繩人會支部、設立を見
 部務、中樞部、確立せる部務、於てハ、出所
 事務、真及技術員、沖繩人會、於てハ、代
 別紙記載二三、出張所職員、残留、意味、或ハ、
 貴狀、一月五日、附、第九五號、依り、帰還、せしむルコトニ
 致し、候、但、當部務、於てハ、人ヲ以て、代替、可能ナル
 醫院、長、嶺、醫師、巡查、高橋、英和、巡查、深瀬、
 貞二、國際、無線、出張員、佐伯、修二、四名、ハ、残置、し
 申、候
 今後、貴廳、上、當部務、上、連、落、ハ、當部務、駐在

巡查、上、當部務、沖繩人會、及、部務、總代、
 依り、處理、同、滑、運、營、サ、ル、ハ、付、御、了、承、願、上、
 候、也

西
第 十 一 號

收受昭和 年 月 日
立案昭和 年 月 日
決裁昭和 年 月 日
施行昭和 年 月 日
書 淨

合 校

長官

内政部長
支廳長

總務課長
内政課長

主任

經濟部長

總務課長
經濟課長

員

案

支廳長

大和支廳長宛

部長總代並職員更迭ニ関スル件

二口一ノ清掃作業並其ノ他ノ都合ニ依リ

月 羊 題

貴部部落總代五職員在記一通更迭也
 二件了知相成

地域

職員 西五字模

職員 西五字模

第一部落

總代 佐久川紀重
 職員 普天呂太郎
 宮里盛順

總代 普天呂太郎
 職員 山川 敏子
 妻屋武隆徳

第二部落

職員 比嘉知信

總代 長浜武揚
 職員 比嘉知信

BS(前面同議用紙)

第三部落

總代 志伊良正深
 職員 上野昌成
 常呂港太郎

職員 城戸盛正
 總代 宮里盛順
 職員 常呂港太郎
 常山全吉

南洋廳

東ノ二

支廳長

普天呂太郎

長浜武揚

宮里盛順

部落總代 永七郎 二周又ル件

料別

今般貴下ニ大和村常 部族總代ノ子女
 屬ハニ外テハ及民生治山安定ノ為力相
 得ニ此既得貴ノ意思也

ハ沖第三并

昭和二十一年一月三日

南洋群島パラオ沖繩人會
 會長 宇江城松三

南洋廳西部支廳長竹岡健治殿

大和村部落總代及出張所職員変更ニ關スル件

首題ノ件、コール清掃出役及其他都合ニ依リ昭和二十一年十二月二十日
 附御發令、部落總代及出張所職員別紙通リ変更方御取計
 相成度

追而右ハ急ヲ要スルニ付大至急御發令相願度

めくれず

明治三十二年一月二日
 南洋大和村出張所職員
 大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員
 第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

南洋大和村出張所職員
 大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員
 第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

會
 南洋大和村出張所職員
 大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員
 第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

明治三十二年一月二日
 南洋大和村出張所職員
 大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員
 第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

南洋大和村出張所職員
 大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員
 第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

西平岸模
 系嶺篤烈

大和村第一部落總代
 南洋大和村出張所職員

第三部落總代
 南洋大和村出張所職員

南洋大和村出張所職員

普天間太郎
 山川繁
 喜屋武隆徳
 長濱武揚
 比嘉知信
 城間盛正
 宮里盛順
 當間龜太郎
 當山全吉

めくれず

南洋廳

内地帰還ノ為アルミズル其ノ附近ニ住ル者也

甘密、ギヤツキハ補給ニ關スル件

鎮座、大和、朝日、博多、各出張所長

支庁長

事務課長

内政部長
支庁長
経済部長

関係課長
主任

係員

出

第十二號
昭和二十一年一月十三日
決定昭和二十一年一月十三日
施行昭和二十一年一月十三日
合校

南洋廳
支庁長
事務課長
係員
主任
出

ル者ニ對スル甘蔗、キヤツサハ別紙計畫ニ依
補給スルコト、ナクタルニ付、の取計相成る

B5(南面同義川紙)

甘蔗、キヤツサハ補給計畫
一、補給ノ對照

アルミ、ス、及、其ノ附近ニ集結スル内地人ニ五〇〇名

二、補給量

一人一日甘蔗ノ場合八〇名 キヤツサハノ場合一〇〇名

一日總量 ④ノ場合二〇〇名 ⑤ノ場合二五〇名

④ノ場合二五〇名

三、補給方法

イ、取得

船積場後一貫、及、④一月 ⑤八〇名ニ

テ買上グ

ハ、運搬

烟地一積込地番ノ運搬ハ主トシテアルニス
 集結各村ヨリ是出ノ使役ヲ以テ之ヲ為シ
 村ハ之ニ協力スルモノトス 客果携行ノコト
 自働車ハ土木課ノ船ハ経済課担任
 八、配給
 無償配給トシ帰還ノ努力局給与係担任
 四、其ノ他
 一、地域別供出量及期日 別表ノ通
 以、補給ノ予想ノ期日
 自一月十六日至一月三十一日 十六日付
 八、予想ノ補給量 ④、切合 三、二〇〇人
 ④、切合 四、〇〇〇人
 二、予想ノ要経費 三、二〇〇円

(日本ノト助)

供出期日	地域	供出量	運搬	備
一、一六	大船産	④ 四〇〇	自働車	一六日使役二〇名
一、一九	朝日	④ 七五〇	船	一七、一八日使役二〇名
一、二二	長	④ 七五〇	船	二〇、二一日使役三〇名
一、二五	産	④ 六〇〇	船	二五、二六日使役二〇名
一、二八	長	④ 五〇〇	船	二八、二九日使役四〇名

陸軍

陸軍

頤和堂

记

(日本ノート納)

(日本ノート附)

(日本ノート納)

品 第一三號
 收 昭和 年 月 日
 立 昭和 年 月 日
 決 昭和 年 月 日
 施 昭和 年 月 日
 書 淨
 校

長官
 内政部長
 文部部長
 逓信部長
 陸軍部長
 海軍部長
 農林部長
 商工部長
 司法部長
 文庫部長
 文庫課長
 文庫係員

東

杉中
 姫路

出張部長

第一分館
 第二分館
 第三分館
 第四分館
 第五分館
 第六分館
 第七分館
 第八分館
 第九分館
 第十分館

相成交

記

アイミリーキ第一出張所長ヲ命ス

松本

一男

松本

一男

修

アイミリーキ第一出張所長ヲ命ス

記

南糧出第四部

昭和二十年十二月二十日

西部支庁南糧出張所長 江川隆俊

西部支庁長 竹岡健治殿

陸軍ヨリ移管セラル、物資、物件接收ニ
関スル件

十二月八日附西経第三十部通牒ニ基キ接收
シタル物資、物件別紙ノ通ニ付即報ス
但シ津縄隊分

田公事録
 シタル所、此中一箇ニ於テ
 十二月一日、西暦二十一年
 前、新ニ其ヲ録ス

樂々々々

子并一清及

學文以成其道

西曆一九二二年十二月二十日

南園菜圃

引渡物件

別紙四葉通リ引継了ス

昭和三十年十二月二十日

授第四十五營統領天津龍家大尉 平井義明
受南洋片囑託 江川隆俊

江川隆俊

東京小津結

「建設地井」

建設地井

昭和二十一年十一月二十日

建設地井

建設地井

引渡物件(建築物)

津篠塚

建築物種類	大	現	状	位	置	明渡年月日	用途	記
平屋	七坪半	健康後	アミリキ				土官室	
平屋	十二坪	健康後	アミリキ				事務室	
平屋	十三坪	健康後	アミリキ					
平屋	十三坪半	健康後	アミリキ				兵舎	
平屋	十五坪							
平屋	十坪							
平屋	六坪							

備考

「コ」清掃作業轉進場合床板使用、予定

品名	食器	食器	食器	茶瓶	配食鍋	鉈丁	陸戰釜上	陸戰釜下	沙鍋	洗桶	汁杓子
引渡物件(主計科要目)	何	何	何	何	組	提	組	組	何	何	何
數量	二〇	一五	一五	七	七	三	二	二	二	一	二
現狀				良							
引渡年月日				現使用中 二付不明							
記事											

津權場

東京小津納

二、^レ箭、林、業、煉、煎、監、令、林、煎、用、_二子、_一、
_二子、_一

[illegible]

金

July

五

フビイカ

6 款

兵部

律種

農耕地西半區

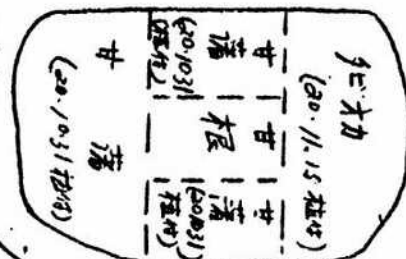
5段ノ敵

宿地

耕地總面積 6段ノ敵

牛馬糞田

8段



陸軍

昭和二十年十二月十八日

西部入嶺産糖出集所長

西部入嶺長殿

牛豚交付ニ関スル件

命ニ依リテ記ノ通交付スルニ付報告ス

ヤ記

交付先

牛

豚

糖

要

アイミリーキ

2

2

カスパン

1

1

アイライ

1

1

率

2

2

他ニ乳牛14

東京市港部

昭和三年十二月十六日

軍馬及家畜引継書

豊盛

南鐵

ノイ

ノイ

軍馬及家畜引継書

一 目録

1. 軍馬 一〇頭 別紙連名簿通リ
2. 畜牛 二頭
3. 獣醫行季 一組
4. 野戰蹄鉄工具 二具
- 左 軍馬及家畜引継ヲ了ス

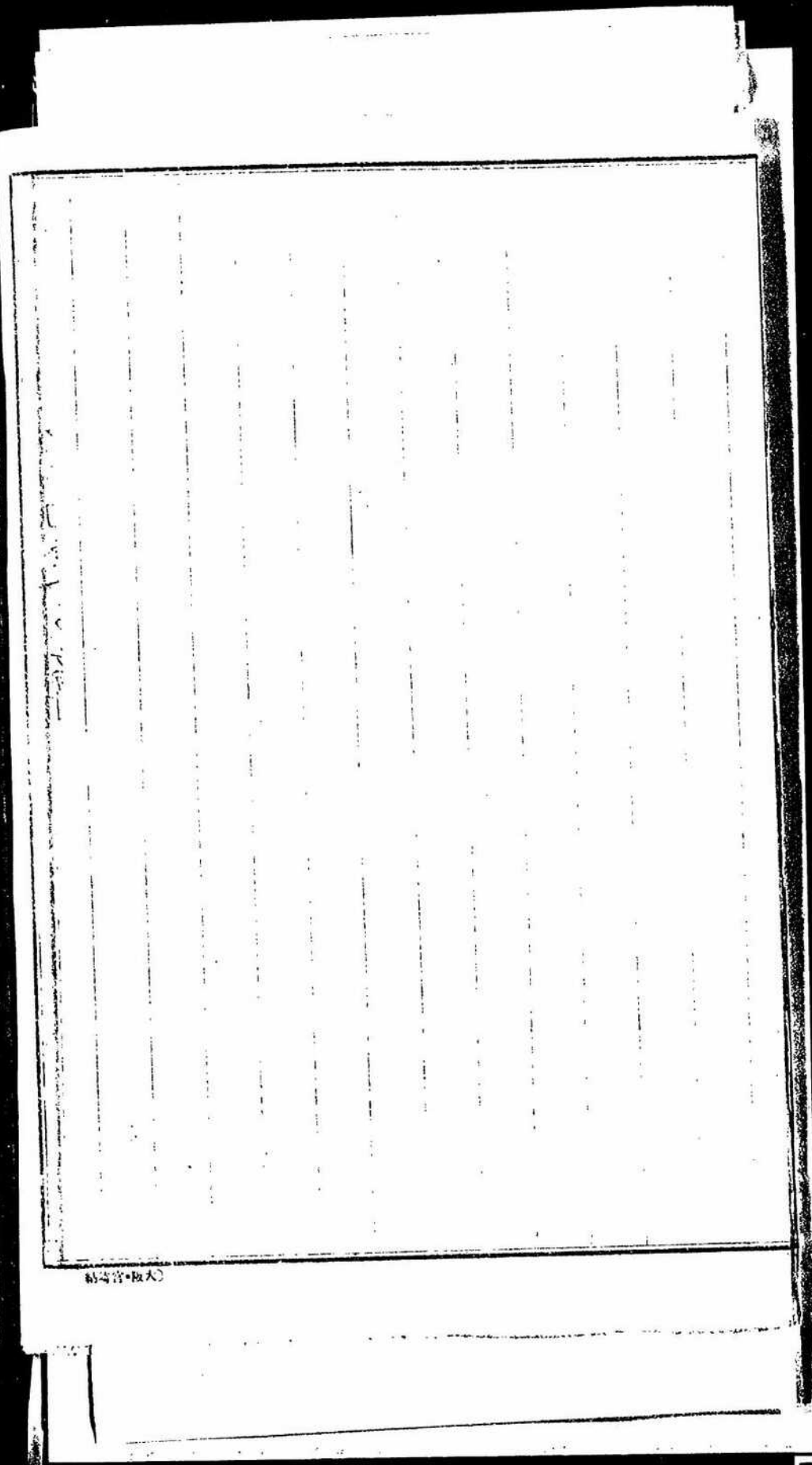
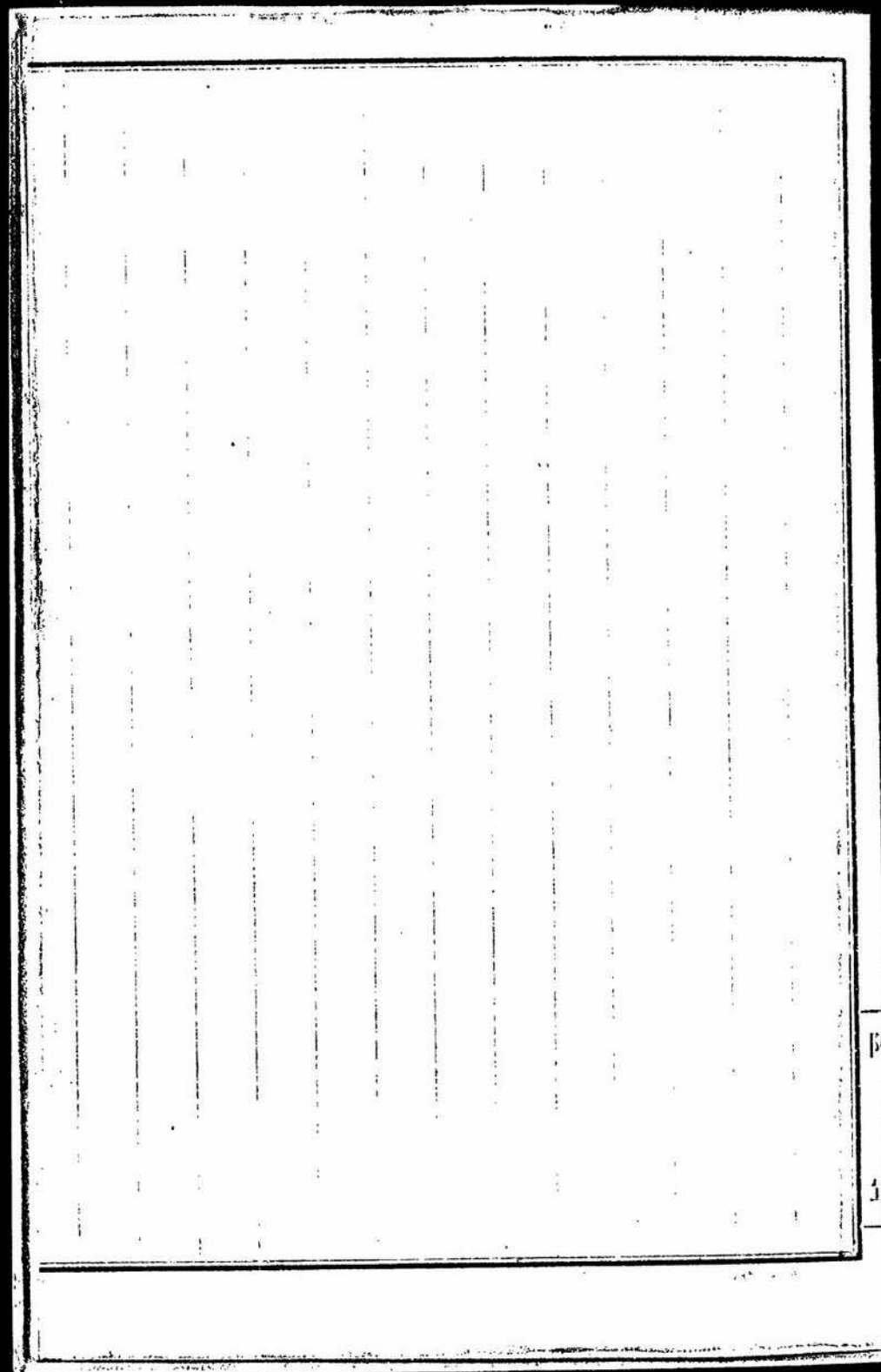
昭和三年十二月十六日

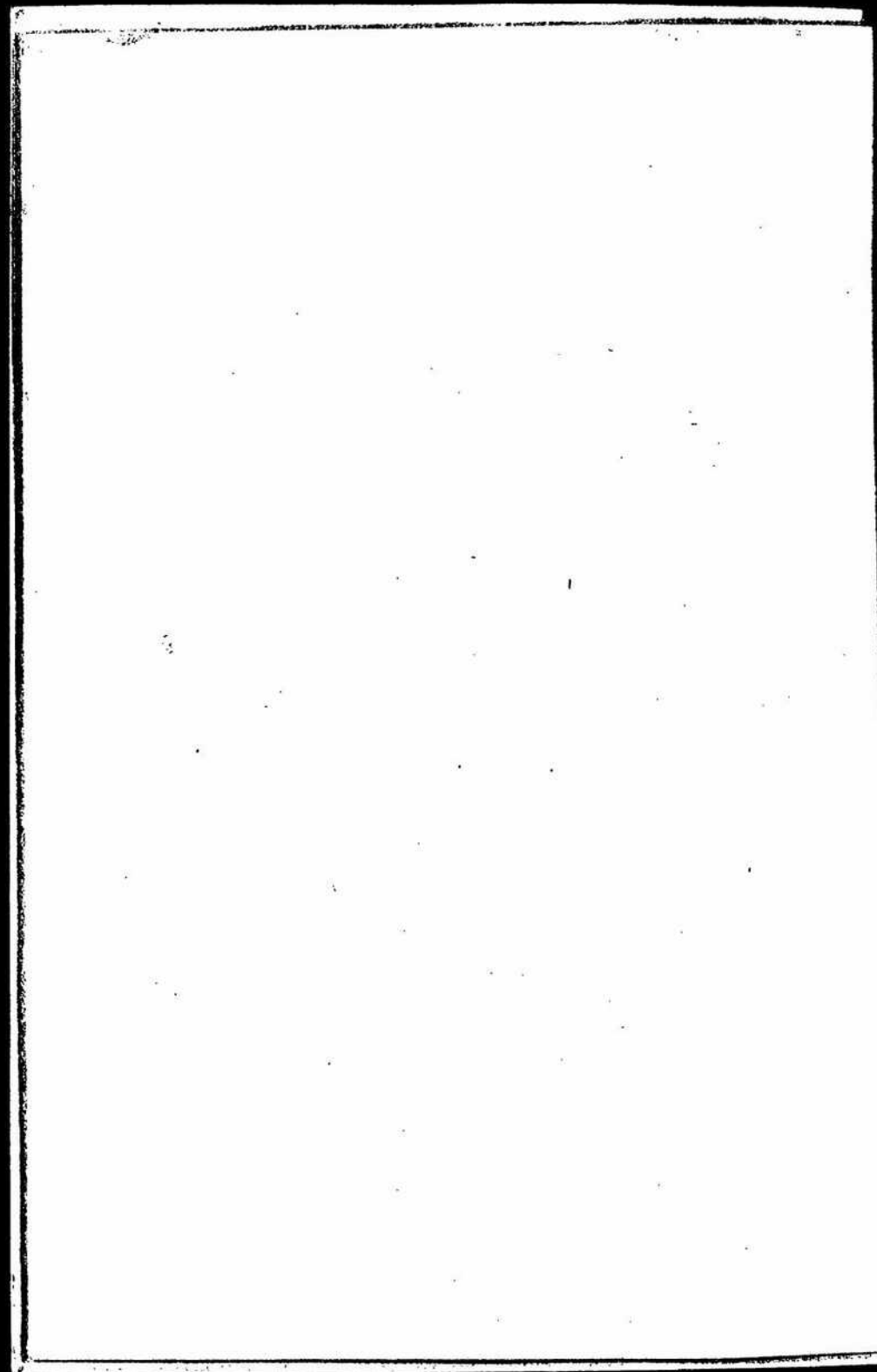
石川部隊朝日派遣隊 陸軍技手田中梅吉

南洋廳朝日出張所長 南洋廳技師坂田 登

計 百頭	大 桃	桃	飯	上	思	梅	治	昭	勝	馬
四	役	稚	上	宗	砂	律	磯	舟	時	名
駒	牝	牝	牝	駒	駒	駒	駒	駒	駒	性
七	栗	鹿	鹿	栗	鹿	鹿	青	青	青	毛
十	三	三	六	四	三	九	五	六	七	色
十	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	雜	年
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	齡
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	種
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	類
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	用
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	彼
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	産
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	特
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	徴
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	摘
十	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	駒	要

陸
軍





大正十一年									
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十
四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十
六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十
七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十
八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十
九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百

大正十一年

めくれず

